

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中島 孝	難病の基礎知識Ⅰ,Ⅱ	福原信義監修	難病患者等ホームヘルパー養成研修テキスト改訂第6版	(株)社会保険出版社	東京	2004(印刷中)	
川上英孝、中島孝	神経・筋・変性疾患	認定医・専門医のための内科学レビュー		総合医学社		2004(印刷中)	
伊藤道哉〔分担執筆〕	諸外国におけるALS患者の安楽死・自殺幇助の動向		ALS告知・選択「人工呼吸器をつけますか？」	メディカ出版		2004年2月	137-166 (総ページ数182)
伊藤道哉 編著	医療の倫理 資料編			丸善		2004年3月	(総ページ数168)
高久史磨 監修 伊藤道哉 著	医療倫理	日本医師会編	最新医療秘書講座6	メヂカルフレンド社		2004年3月	分担頁p.89～178(総ページ数178)
牛込三和子(分担執筆)	病状経過と在宅看護の課題	川村佐和子	在宅ケア高度実践術	日本看護協会出版会	東京	2002	117-136
荻野美恵子	筋萎縮の診かた	坂井文彦	ベッドサイドの神経の診かた 改訂16版	南山堂	東京	2004	431-443
小倉朗子	意思決定を支える技術	川村佐和子	実践看護技術学習支援テキスト	日本看護協会出版会	東京	2003	77-90
川村佐和子	【EBM診療ガイドライン解説集】脳神経系疾患 人工呼吸器を装着しているALS療養者の訪問看護ガイドライン	福井次矢	体の科学〔増刊〕		東京	2003	111-114
久野貞子、水田英二、山崎俊三	第Ⅰ編パーキンソン病治療薬および治療法の有効性と安全性 第一章L-ドーパ。	日本神経学会監修	パーキンソン病治療ガイドライン	医学書院	東京	2003	6-28
熊本俊秀	アルコール中毒	杉本恒明、小俣政男、水野美邦	内科学	朝倉書店	東京	2003	2068-2070

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
熊本俊秀	薬物中毒	杉本恒明、小 俣政男、水野 美邦	内科学	朝倉書店	東京	2003	2070- 2073
熊本俊秀	アミロイドーシス	和田 攻、橋 本信也	新臨床内科学 「コンパクト 版」	医学書院	東京	2003	606-607
熊本俊秀	神経系の診察法	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	2 : 60-90
熊本俊秀	めまい b 神経内科的 立場から	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	3 : 94-95
熊本俊秀	筋萎縮・筋肉痛・脱 力・筋力低下	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	3 : 102- 104
熊本俊秀	不随意運動	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	3 : 108- 110
三宮邦裕、熊本俊 秀	四肢の異常と肢端痛	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	3 : 114- 117
熊本俊秀	生検：e 筋肉	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	4 : 138- 140
熊本俊秀	生検：f 神経	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	4 : 141- 143
三宮邦裕、熊本俊 秀	脳波	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	4 : 225- 228
三宮邦裕、熊本俊 秀	誘発電位	下条文武、齋 藤 康	ダイナミック メディシン1	西村書店	新潟	2003	4 : 229- 231
熊本俊秀	片頭痛の病態・重症度 に応じた治療戦略の立 て方	坂井文彦	片頭痛へのア プローチ：よ りよい日常生 生活を配慮した 診療を目指し て	先端医学社	東京	2004	146-156
清水哲朗	二重結果原則か均衡性 原則かー終末期の鎮静 をめぐる論争から	東北大学倫理 学研究会	MORAL I A 第10号	東北大学倫 理学研究会	宮城	2003	1-19
清水哲朗	折々の発言と書評：臨 床倫理の現状と課題 (他4編)	東北大学倫理 学研究会	MORAL I A 第10号	東北大学倫 理学研究会	宮城	2003	111-132
福原信義	ミトコンドリア脳筋症	黒川 清、松 澤佑次	内科学(第2 版)	文光堂	東京	2003	1778- 1782

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
堀川 楊	神経難病のケア	黒川 清 松澤 佑次	内科学(第2版)	文光堂	東京	2003	1910-1913
宮坂道夫	医の倫理と生命倫理	下条文武, 斎藤康, 辻省次	『ダイナミック・メディシン』	西村書店	新潟市	2003	第2巻, 10-2 ~ 10-3
宮坂道夫	患者の人権	下条文武, 斎藤康, 辻省次	『ダイナミック・メディシン』	西村書店	新潟市	2003	第2巻, 10-5
宮坂道夫	医師の義務と裁量権	下条文武, 斎藤康, 辻省次	『ダイナミック・メディシン』	西村書店	新潟市	2003	第2巻, 10-7 ~ 10-8
宮坂道夫	臨終の立ち会い方	下条文武, 斎藤康, 辻省次	『ダイナミック・メディシン』	西村書店	新潟市	2003	第2巻, 10-14 ~ 10-15
宮坂道夫	医療倫理と原則主義	栗原隆	『知の地平—大学におけるマルチリテラシーと応用倫理』	東北大学出版会	仙台市	2003	153-169
山内豊明	クリティカルパスの現状と展望		クリティカルパス実践セミナーテキスト	株式会社じほう	東京	2003	19-24
山内豊明	臨床医学における総合医療チームワーク		ダイナミックメディシン1	西村書店	新潟	2003	12-24
山内豊明	看護における問題解決の方法論		ダイナミックメディシン2	西村書店	新潟	2003	16-20
山内豊明	アセスメントにおける看護必要度の考え方	岩澤和子・筒井孝子監修	看護必要度看護サービスの新たな評価基準	日本看護協会出版会	東京	2003	21-36

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
中島 孝	ALS早期診断のための新しい展開ー脳SPECT画像での検討	神経内科			2004(印刷中)
川上英孝、中島孝	脳梗塞を疑う	Medicina	40	602-605	2003
白崎弘恵、石田千穂、中島 孝、亀井啓史、小出隆司、福原信義	音声解析を用いた脊髄小脳変性症の定量的機能評価法についてーMachado-Joseph病におけるtaltirelin hydrateの効果ー	臨床神経学	43	143-8	2003
中島 孝	緩和ケアとはなにか	難病と在宅ケア	9	7-11	2003
中島 孝	筋萎縮性側索硬化症患者に関する生活の質(QoL)向上への取り組み	神経治療学	20	139-147	2003
Nemoto H, Toda H, Nakajima T, Hosokawa S, Okada Y, Yamamoto K, Horiuchi R, Endo K, Masahiko M, Goto F	Fluvoxamine modulates pain sensation and affective processing of pain in human brain	NeuroReport	14	791-797	2003
伊藤道哉	医療政策・政策医療とQOL	第58回国立病院療養所総合医学会プログラム、医療	57(増刊)	93	2003
伊藤道哉	クリティカル・パスとチーム医療	Diabetes Frontier	13(4)	458-462	2003
伊藤道哉	医行為のゆくえ	クレコンレポート	25	1-11	2003
伊藤道哉	医療・福祉の経済学	第1回日本神経疾患医療福祉従事者学会プログラム・抄録集		35	2003
伊藤道哉	ALS(筋萎縮性側索硬化症)特集国試に出るかもしれない話題の疾患	クリニカルスタディー	24(14)	58	2003
伊藤道哉	問題：家族以外の者にたんの吸引を認めるべきか否か	看護部長通信	1(3)	50-54	2003
伊藤道哉	解答：家族以外の者にたんの吸引を認めるべきか否か	看護部長通信	1(4)	44-51	2003
伊藤道哉	考察：尊厳死と「終末期医療に関する調査」	看護部長通信	1(5)	32-39	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
伊藤道哉	再考察：諸外国の状況を踏まえた安楽死	看護部長通信	1 (6)	32-40	2004
伊藤道哉, 濃沼信夫	生命保険をめぐる遺伝性難治疾患患者・家族の不利益の状況	病院管理	40	Suppl.197	2003
伊藤道哉	考察：尊厳死と「終末期医療に関する調査」	看護部長通信	1 (5)	32-39	2003
伊藤道哉	書評『陣田泰子他：図解でわかるナースのための仕事術！, 照林社』	月刊ナースマネジャー	5 (9)	43	2003
伊藤道哉	書評『飯野奈津子：患者本位の医療を求めて, 日本放送出版協会』	月刊ナースマネジャー	5 (10)	39	2003
伊藤道哉	書評『松田晋哉編著：21世紀の医療と診断群分類, じほう』	月刊ナースマネジャー	5 (12)	5	2003
伊藤道哉	今何故「緩和ケア」か, 特集 ALSの緩和ケアを考える	JALSA	61	33-34	2004
伊藤道哉		厚生労働省：看護師等によるALS患者の在宅療養支援に関する分科会報告書, 2003. http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/06/s0609-4a.html			
伊藤道哉	ALS等神経難病在宅療養者の事例検討	平成15年度宮城県神経難病医療連絡協議会実地研修会, 第2回, 仙台			2003年9月
伊藤道哉	医療・福祉の経済学	第1回日本神経疾患医療福祉従事者学会, 横浜			2003年9月
伊藤道哉, 濃沼信夫, 石川秀樹	家族性腫瘍診療の社会的側面	第41回日本癌治療学会ワークショップ『家族性腫瘍を取り巻く諸問題』, 札幌			2003年10月
伊藤道哉, 濃沼信夫	生命保険をめぐる遺伝性難治疾患患者・家族の不利益の状況	第41回日本病院管理学会, 東京			2003年10月
伊藤道哉	医療政策・政策医療とQOL	第58回国立病院療養所総合医学会, 札幌			2003年11月

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
伊藤道哉, 佐伯智子, 石川秀樹:	家族性腫瘍診療における社会的問題—医療費補助/適正な医療保険制度に向けての提言—	慶應義塾大学 Open Research Forum, 東京			2003年11月
伊藤道哉, 濃沼信夫, 佐伯智子, 石川秀樹	遺伝性疾患の社会的不利益	人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業プロジェクト研究〈医療システムと倫理〉, 仙台			2004年1月
伊藤道哉	DPCと神経難病	第3回大阪神経難病医療協議会, 大阪			2004年3月
今井尚志	4-2運動ニューロン疾患 (分担執筆)	必須神経内科診療ハンドブック		242-248	2003
大隅悦子, 今井尚志	5-1筋生検 (分担執筆)	必須神経内科診療ハンドブック		162-166	2003
今井尚志	普通の人生だけでなく、また新しい人生がある	難病と在宅ケア	Vol.8 No.10	7-13	2003
今井尚志	ALS治療ガイドラインに沿った患者さんの医療・療養支援の進め方	難病と在宅ケア	Vol.9 No.7	29-32	2003
今井尚志	人工呼吸器装着ALS患者さんの療養先拡大に向けて	難病と在宅ケア	Vol.9 No.10	24-26	2004
生込三和子, 友松幸子, 佐々木馨子, 飯田苗恵, 岡本幸市, 依田裕子, 小林良清, 早乙女千恵子	神経難病医療ネットワークにおける難病医療専門員のコーディネート機能	THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	Vol.52, No.4	243-252	2002
荻野美恵子, 斎藤豊和	呼吸管理	総合リハビリテーション	29巻11号	997-1005	2001
荻野美恵子	在宅人工呼吸療法の過去と未来	日本在宅医学会	4巻1号	7-8	2002
荻野美恵子	神経難病の在宅ケア	からだの科学	232号	63-67	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
荻野美恵子	慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー(CIDP)における血液浄化療法	日本アフェレシス学会	22号	88	2003
遠藤基, 荻野美恵子, 荻野裕, 斎藤豊和, 坂井文彦	当院における在宅人工呼吸療法16年間の変遷	日本在宅医学会	5巻1号	75	2003
石井恵, 塚木佳代, 小倉朗子, 水野優季	人工呼吸器装着を選ばないALS療養者の在宅支援に関する検討—喉頭摘出だけを選んだ療養者の終末時看護—	日本難病看護学会誌	8	62	2003
水野優季, 小倉朗子, 川村佐和子	人工呼吸器装着を選ばないALS療養者の在宅誌絵に関する検討—喉頭摘出だけを選んだ療養者の退院準備を通して—	日本難病看護学会誌	8	61	2003
富加見美智子, 小原史子, 小倉朗子, 水野優季	在宅人工呼吸療法療養において療養者や家族が抱える課題や悩みとサービスシステムの課題に関する検討	日本難病看護学会誌	8	40	2003
小倉朗子, 長沢つるよ, 兼山綾子, 石井昌子他	神経・筋難病療養者のコミュニケーション—その特性と支援の標準化に関する検討	日本難病看護学会誌	8	41	2003
水野優季, 小倉朗子, 川村佐和子, 小西かおる	在宅人工呼吸療法を実施しているALS療養者における排痰困難とカフレーターを用いる排痰看護に関する検討	日本呼吸管理学会誌	13	183	2003
松下祥子, 小倉朗子, 小西かおる, 石井昌子, 井上愛子	東京都における在宅人工呼吸器使用難病患者の実態調査 第2報—二次保健医療圏を単位とした訪問看護の利用状況—	日本難病看護学会誌	8	43	2003
井上愛子, 松下祥子, 小倉朗子, 石井昌子	東京都における在宅人工呼吸器使用難病患者の実態調査	日本難病看護学会誌	8	42	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
小倉朗子	ALS等神経難病療養者の療養経過と看護サービス 療養環境整備の課題	訪問看護と介護	8	306-311	2003
小倉朗子	人工呼吸器装着等医療依存度の高い長期療養者への24時間在宅ケア支援システムに関する研究	日本訪問看護振興財団 報告書			2003
小倉朗子	特集：医療連携 各領域における医療連携への取り組み 看護連携についてー神経難病療養者の場合ー	実験治療	670	84-89	2003
松下祥子、小倉朗子、近藤紀子、笠井秀子他	在宅における気道内吸引の管理支援に関する研究	日本難病看護学会誌	7	180-187	2003
早川映理、牛久保美津子、川村佐和子	神経難病療養者・家族がかかえる在宅療養上の問題の構造化	日本難病看護学会誌	8巻1号	55	2003
水流聡子、中西睦子、川村佐和子、堀内成子、萱間真美、村嶋幸代、本道和子、井上真奈美、日高陵好、内野聖子、江藤宏美、長岡由紀子、石垣恭子、宇都由美子、高見美樹、柏木聖代、柏木公一、美代賢吾、横山 梓	診療看護サービスのマネジメントに有用な電子経過表と看護関連マスタの設計	医療情報学	23巻1号	98-99	2003
早川映理、牛久保美津子、川村佐和子	難病医療相談における多職種間協働と看護の専門性に関する研究	日本難病看護学会誌	7巻3号	188-195	2003
小倉朗子、長沢つるよ、兼山綾子、小西かおる、水野優季、松下祥子、石井昌子、川村佐和子	神経・筋難病療養者のコミュニケーション その特性と支援基準化に関する検討	日本難病看護学会誌	8巻1号	41	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Y Mizuno, H Takubo, E Mizuta, <u>S Kuno</u>	Malignant syndorome in Parkinson's disease: concept and review of the literature.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	3-9	2003
H Ichinose, T Ohye, H Shinotoh, K Arai, S Yamazaki, E Mizuta, <u>S Kuno</u> , T Nagatsu	Biopterin metabolism in pationts with malignant syndrome.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	11-14	2003
H Takubo, T Harada, T Hashimoto, Y Inaba, I Kunazawa, <u>S Kuno</u> , Y Mizuno, E Mizuta, M Murata, T Nagatsu, S Nakamura, N Yanagisawa, H Narabayashi	A collaborative study on the malignant syndrome in Parkinson's disease and related disorders.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	31-41	2003
S Ikebe, T Harada, T Hashimoto, I Kanazawa, <u>S Kuno</u> , Y Mizuno, E Mizuta, M Murata, T Nagatsu, S Nakamura, H Takubo, N Yanagisawa, H Narabayashi	Prevention and treatment of malignant syndrome in Parkinson's disease: a consensus statement of the malignant syndrome research group	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	47-49	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Eds.:Shigeki Kuzuhara & Yoshikuni Mizuno, Guest eds:Genjiro Hirose, Ichiro Kanazawa, <u>Sadako Kuno</u> , Masahiro Nomoto, Norio Ogawa, Kunio Tashiro, Mitsutoshi Yamamoto, Nobuo Yanagizawa	11 th Synposium on the Treatment of Parkinson's Disease:oct.26,2002 Tokyo, Japan.	J.Neurology	Vol.250 Supl.3		2003
K Ohta, <u>S Kuno</u> , I Mizuta, A Fujinami, H Matsui, M Ohta	Effects of dopamine agonists bromocriptine, pergolide, cabergoline, and SKF-38393 on GDNF, NGF, and BDNF synthesis in cultured mouse astrocytes.	Life Sciences	73	617-626	2003
N Yoshimura, <u>S Kuno</u> , M B. Chancellor, W C. de Groat & S Seki	Dopaminergic machanisms underlying bladder hyperactivity in rats with a unilateral 6-hydroxydopamine(6-OHDA) lesion of the nigrostriatal pathway.	Br. J. Pharmacol	139(8)	1425-1432	2003
I Araki, M Matsui, K Ozawa, M Takeda and <u>S Kuno</u>	Relationship of bladder dysfunction to lesion site in Multiple Sclerosis.	J.Urology	169	1384-1387	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Nishimura M, Kuno S, Mizuta I, Maruyama H, Kaji R, and Kawakami H	Influence of monocyte chemoattractant protein (MCP)-1 gene polymorphism on age-at-onset of sporadic Parkinson's disease	Mov Disord	18	953-955	2003
Hara H, Ohta M, Ohta K, Kuno S, Adachi T	Apomorphine attenuates 6- hydroxydopamine- induced apoptotic cell death.	Redox Report	8(4)	193-197	2003
Hara H, Ohta M, Ohta K, Kuno S, Adachi T	Increase of antioxidative potential by tert- butylhydroquinone protects cell death associated with 6- hydroxydopamine- induced oxidative stress in neuroblastoma SH- SY5Y cells.	Mol Brain Res	119(2)	125-131	2003
久野貞子	口部ジスキネジア	今日の治療指針	2003年版	579-580	2003
柳沢信夫、久野貞 子、村田美穂、葛 原茂樹	パーキンソン病の薬物 治療とドパミンアゴニ ストの意義	Medical ASAHI		68-73	2003
久野貞子	パーキンソン病-歴史 と現況	学会会報	838	120-126	2003
Kumamoto T, Ueyama H, Tsumura H, Toyoshima I, Tsuda T	Expression of lysosome-related proteins and genes in the skeletal muscles of inclusion body myositis	Acta Neuropathol(Berl)	107 (1)	59-65	2004

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Ueyama H, <u>Kumamoto T</u> , Narusako T, Fujimoto S, Goda M	Solitary metastasis of prostatic cancer to the internal auditory canal	Clin Neurol Neurosurg	105 (3)	180-182	2003
Ueyama H, <u>Kumamoto T</u> , Horinouchi H, Fujimoto S, Aono H, Tsuda T	Clinical heterogeneity in dysferlinopathy	Intern Med	41 (7)	532-536	2002
<u>Kumamoto T</u> , Yukishige K, Ito T, Nagao S, Mori T, Ueyama H, Tsumura H, Tsuda T	Cellular distribution of proteolytic enzymes in the skeletal muscle of sarcoid myopathy	Acta Neuropathol(Berl)	104 (1)	38-44	2002
熊本俊秀	Stiff-man症候群	Clinical Neuroscience	21 (12)	1474- 1475	2003
Li M, <u>Kuroiwa Y</u> , Omoto S, Hotta S, Suzuki Y, Kamitani T, Koyano S, Segawa F	The effect of stimulus-onset asynchrony on human visual event- related potentials during simple and choice reaction paradigms under constant or random conditions.	Neuroscience Letters	345	109-112	2003
Kamitani T, <u>Kuroiwa Y</u> , Li M, Ikegami T, Matsubara S	Relationship between cerebellar size and variation of the reaction time during a visual cognitive task in normal subjects.	J Neurol	250:	1001—10 03	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Kamitani T, <u>Kuroiwa Y</u> , Wang L, Li M, Ikegami T, Matsubara S	Event-related potentials during visual S1-S2 paradigm in multiple system atrophy: relation to morphologic changes on brain MRI measurement.	changes Parkinsonism and Related Disorders.	10:	93-100	2003
Yamada H, Dezawa M, <u>Kuroiwa Y</u>	Transfer of the von Hippel-Lindau gene to neuronal progenitor cells in treatment for Parkinson's disease.	Ann Neurol	54:	352-359	2003
Shimamura M, Momose T, Takahashi T, Uchida T, <u>Kuroiwa Y</u>	Measurement using ¹⁸ F-dopa and ¹¹ C-N-methylspiperone PET of striatal dopaminergic function in corticobasal degeneration: comparison with progressive supranuclear palsy and normal controls.				(in submission)
後藤清恵	「病気に立ち向かうには」 第8回JALSA講習会・研修会新潟大会シンポジウム	ALS協会新潟県支部機関紙ひまわり			印刷中
後藤清恵	「臨床実習指導者および学生の資質」 第38回日本理学療法士協会全国大会	理学療法学	第31巻 第3号		2004

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
近藤清彦	神経難病の在宅医療- 公立病院の立場から-	医療	57(8)	514-520	2003
近藤清彦	ALSとともに-17年間の 在宅人工呼吸療法 の経験からわかった こと	日本ALS協会近畿ブロック 会報	44	2-19	2003
清水哲朗	事例に学ぶシリーズ 2004、パリアティブ ケアにおける臨床倫 理、安楽死を希望す る患者さん コメント	ターミナルケア	Vol.14 No.1	45-47	2004
難波玲子	神経難病（ALSを中心 に）の緩和ケア-医師 の立場から-	難病と在宅ケア		12-16	2003
西澤正豊	最近の研究情報 特集 「脊髄小脳変性症の最 新情報」	難病と在宅ケア	9(2)	7-9	2003
西澤正豊 他3名	遺伝性痙性対麻痺の遺 伝子的研究	脳神経	55(9)	757-763	2003
西澤正豊 他1名	脳梁菲薄化を伴う遺伝 性痙性対麻痺	脳神経	55(9)	765-770	2003
西澤正豊 他1名	脊髄小脳変性症の治療 の試み	BIO Clinica	18(12)	24(1064)- 27(1067)	2003
Nishizawa M.他 7名	Identification of a SACS gene missense mutation in ARSACS.	Neurology	62(1)	107-109	2004
福永秀敏	在宅で中心静脈栄養を 管理する日々	難病と在宅ケア	8	30	2002
福永秀敏	「病む人を学ぶ」を院 是として	難病と在宅ケア	8	77	2002
福永秀敏	人に頼むということ	難病と在宅ケア	8	72	2003
福永秀敏	時には「ありがとう」 の気持ちを表して	難病と在宅ケア	9	58	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
福永秀敏	診断の難しさ	難病と在宅ケア	9	75	2003
白崎弘恵、石田千穂、中島 孝、亀井啓史、小出隆司、福原信義	音声解析をもちいた脊髄小脳変性症の定量的機能評価について。Machado-Joseph病におけるtaltirelin hydrateの効果。	臨床神経	43	143-148	2003
堀川 楊	在宅医療と心身医療	日本心療内科学会誌	7	77-81	2003
Kiyomitsu Oyanagi, Kentaro Ogata, Shigeki Takeda, Yo Horikawa, Emiko Kawakami and Takashi Morita	Widespread vertebral and epidural venous plexus metastasis of prostatic cartinoma presenting wedge-shaped radial lesion in the spinal cord.	Neuropathology	23	296-300	2003
水島 洋	バイオインフォマティクス	IT医療白書	2003	p.36-38	2003
水島 洋	転写制御機構解析のためのバイオインフォマティクス	ゲノム医学	Vol.3 No.1	p73-79	2003
山内豊明	数値だけではわからない患者さんの状況を総合的に見る手順	ナース専科	23巻1号	18-23	2003
山内豊明	クリティカルパスの現状と展開	医療マネジメント学会雑誌	3巻4号	679-680	2003
山内豊明	「静脈注射についての法令解釈の変更」から考える	看護管理	13巻4号	272-274	2003
山内豊明	アセスメントQ&A急変患者さんを看る際のポイント	ナース専科	23巻8号	24-27	2003
山内豊明、三笠里香、志賀たずよ	訪問看護実践に必要とされるフィジカルアセスメントについての現状調査	日本看護医療学会雑誌	第5巻	35-42	2003
山内豊明	米国における臨地実習について	日本看護技術学会誌	2巻1号	12-21	2003

平成15年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Masao Hiraiwa, Jian Liu, Al-Gang Lu, Cui-Ying Wang, Roberta Misasi, <u>Toyoaki Yamauchi</u> , Isao Hozumi, Takasi Inuzuka, and John S_ O' Brien	Regulation of Gene Expression in Response to Brain Injury: Enhanced Expression and Alternative Splicing of Rat Prosapos(SGP-1) mRNA in Injured Brain	JOURNAL OF NEUROTARAUMA	20巻8号	755-765	2003

その他

発表者氏名	論文タイトル	ホームページ名	アドレス	掲載年
西澤 正豊	ALS患者さんのノーマライゼーション	日本ALS協会新潟県支部ホームページ	http://homepage3.nifty.com/jalsaechigo/	2003

20030820

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

V. 研究報告会プログラム

特別セミナー：神経疾患の緩和医療と QOL（第2回）

「QOL の質的研究：Narrative based medicine から主観的 QOL 尺度まで」

今回、神経難病関連の二つの研究班が、共催で、治療法に限界のある難病領域の QoL と QoL 評価法を考えるセミナーを企画しました。テーマは、narrative based medicine (NBM) を通して QoL 評価研究のもとになる QoL の質的研究について、QoL 評価と臨床評価はどのように異なるのか、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) で使われている QoL 評価尺度 (ALSAQ-40) ¹ の実際、さらに、難病の診療・緩和ケア・看護・介護領域で利用可能な主観的 QoL 尺度である Schedule for the Evaluating of Individual QoL—direct weighting (SEIQoL-DW)^{2,3} の実習を行います。SEIQoL-DW のセミナーは本邦初めてのものとなります。神経変性疾患など難病の診療、保健、福祉、行政、研究に携わる多職種の方のご参加を期待致します。

なお、参加費は無料ですが、教材の準備の都合上、ご出席予定を事務局（岩崎あるいは成田）まで e-mail 等でお知らせ下さい。

共催 厚生労働省特定疾患対策研究事業

「特定疾患の QOL の向上に資するケアのありかたに関する研究班」（主任研究者 中島孝）

「神経変性疾患に関する調査研究班」（主任研究者 葛原茂樹）

記

日時：8月9日（土曜日）13:00 から

場所：東京大学本郷キャンパス、山上会館

<http://www.u-tokyo.ac.jp/jpn/campus/map/index.html> の本郷キャンパス施設案内図を参照

交通：地下鉄丸の内線、本郷三丁目駅下車、または 地下鉄南北線 東大前駅下車

対象者：難病医療の携わる保健・医療・福祉従事者、関係する行政担当者、教育者、研究者、学生、ボランティア、特定疾患対策研究事業研究班の班員など

連絡先：

● 国立療養所犀潟病院神経内科「特定疾患の QOL の向上に資するケアのありかたに関する研究班」事務局 岩崎まで

Fax & Phone 025-534-6734 e-mail: hiwasaki@saigata-nh.go.jp

または

● 三重大学医学部神経内科「神経変性疾患に関する調査研究班」事務局 成田まで

Fax 059-231-5082, Phone 059-231-5107 e-mail: yug@clin.mie-u.ac.jp

以上.